

**木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨**

<b>会議名</b>	第 18 回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
<b>日 時</b>	平成 24 年 6 月 11 日 (月) 午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分	<b>場 所</b>	木津川市役所全員協議会室
<b>出席者</b> (出席者…■) (欠席者…□)	<b>委 員</b> 【学識経験者】 ■中川 大委員 (副会長・議長)、■松中亮治委員 【市民代表】 ■坂本佳津子委員、□関和香子委員、■大村裕信委員、■鶴岡由雄委員、 ■神野勝三郎委員、□坂本利正委員、■中岡武司委員、■城野敏之委員 【事業者】 ■菅又武之委員 ※代理：徳岡英志 (西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部大阪支社総務企画課 主査)、□森本耕司委員、■川邊経恭委員 ※代理：大久保篤士 (奈良交通株式会社乗合事業部 課長)、■津田秀夫委員 ※代理：村上英志 (株式会社ウイング総務課 課長代理) ■菅沼道和委員、□筒井基好委員、■梅田幹夫委員、■加藤隆委員、■大西秀樹委員 ※佃 寿己 (奈良交通労働組合執行委員) 【行政機関】 □川合宏和委員、■木村淳三委員、■中安 隆年委員、■辻村徳夫委員 □今西克禎委員、■滝 清基委員 ■河井規子委員 (会長)、□田中達男委員、■藤林英和委員 ※代理：中村裕彦 (建設部理事)		
	<b>その他</b> 【オブザーバー】 ■ (近畿運輸局企画観光部交通政策課企画課長) 波越祐介 ※代理：牧野宏紀 (近畿運輸局企画観光部交通政策課 係長)		
<b>事務局</b>	尾崎市長公室長、尾崎課長、奥田係長、西村主任、富井主任		
<b>傍聴者</b>	2 人		
<b>議 題</b>	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 委員紹介 4. 副会長選出 5. 議事 (1) 協議事項 ①平成 23 年度会計決算報告について ②平成 24 年度補正予算第 1 号 (案) について ③生活交通ネットワーク計画 (案) について ④木津バス停のバスベイについて (2) 報告事項 ①一日乗車券の運用について ②大畑線ルート見直し後の利用状況について (3) その他 ①次回法定協議会の日程について ②その他		

	<p>4. 閉会</p>
<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開会 事務局より開会を宣言した。</p> <p>2. 会長あいさつ 河井会長より、開会にあたり挨拶があった。</p> <p>3. 委員紹介 事務局より委員の紹介を行った。</p> <p>4. 副会長選出 副会長に中川 大委員が選出された。</p> <p>5. 議事 運営内規に基づき、会議録の署名委員として、議長が坂本佳津子委員を指名した。</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>①平成23年度会計決算報告について 「資料1 成23年度木津川市地域公共交通総合連携協議会会計歳入歳出決算書」を用いて、平成23年度会計決算の提案及び会計監査内容について報告し、承認。</p> <p>②平成24年度補正予算第1号(案)について 「資料2 平成24年度木津川市地域公共交通総合連携協議会補正予算第1号(案)」を用いて平成24年度木津川市地域公共交通総合連携協議会補正予算第1号(案)について提案し、承認。</p> <p>③生活交通ネットワーク計画(案)について 「資料3-1 平成24年度生活交通ネットワーク計画【地域内フィーダー系統確保維持計画】」、「資料3-2 平成25年度生活交通ネットワーク計画【地域内フィーダー系統確保維持計画】」及び「資料3参考資料 地域公共交通確保維持改善事業について」を用いて生活交通ネットワーク計画(案)について提案し、承認。</p> <p>④木津バス停のバスベイについて 「資料4 道路の移動等円滑化整備ガイドライン」を用いて木津バス停のバスベイについて説明し、事務局で再調整することとなった。</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>①一日乗車券の運用について 「参考資料 平成23年度地域公共交通利用促進事業業務委託報告書」を用いて一日乗車券の検討状況について報告した。</p>

	<p>②大畑線ルート見直し後の利用状況について 「資料5-1 大畑線の利用実態について」を用いて大畑線の利用状況について報告した。</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回法定協議会の日程について 事務局で調整し、連絡することとした。</p> <p>4. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 会長あいさつ 会議結果要旨のとおり。</p> <p>3. 委員紹介 会議結果要旨のとおり</p> <p>4. 副会長選出 会議結果要旨のとおり</p> <p>5. 議事</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>①平成23年度会計決算報告について 【配布資料】 ・資料1 平成23年度木津川市地域公共交通総合連携協議会会計歳入歳出決算書 【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答) 会議結果要旨のとおり</p> <p>②平成24年度補正予算第1号について 【配付資料】 ・資料2 平成24年度木津川市地域公共交通総合連携協議会補正予算第1号(案) 【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答) ○ 平成23年度までは実証運行で、運営主体は協議会であったが、国庫補助が終了し、市の単独財政でバスを運行する。ということは、市が単独財政で運営するバスの運営については、本協議会で協議しないことになるのか。 ▶ 運行に関する経費を協議会が負担していたものを、平成24年度から市の一般会計より支出するもの。協議会としては、今後も引き続きバスの運行に加え、利用促進等、公共交通充実の為に協議をお願いしたい。 ○ 税金を払っている個人としては、出来るだけ効率的にバスの運営をしてもらいたい。税金を大切に使用してもらいたい。 ▶ 如何にして税金を有効に使わせていただくか、コミュニティ交通として市民の</p>

方に満足いただけるようなことを目指し、本協議会で議論いただきたい。

- 国の制度が年々変わってきており、10年から20年前に後戻りしているような感じがする。もう少し工夫して、良い事業を行っているところに対して補助金を与えるように、国の方針を変えていかなければいけない。われわれから運輸局に要望しても良いのではないか。

### ③生活交通ネットワーク計画について

#### 【配付資料】

- ・資料 3-1 平成 24 年度生活交通ネットワーク計画（案）【地域内フィーダー系統確保維持計画】
- ・資料 3-2 平成 25 年度生活交通ネットワーク計画（案）【地域内フィーダー系統確保維持計画】
- ・資料 3 参考資料 地域公共交通確保維持改善事業について

#### 【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

- 本事業は、単に赤字補填の為に補助金になっている。本来はどれだけ努力したかによって補助金を設定していかなければいけないはず。ただし、当協議会としてはせつかくの補助金であるため有効に活用する必要がある。
- 実績として収入が増えれば、国の補助金は減額されることになるのか。
  - ▶ 減額されることになると思われる。
- 結局、協議会で採算を取るために協議し努力しても、収入が増えることで補助金が減ってしまうことが問題。
- 資料 3-1 と 3-2 の 4 ページで国庫補助額が記載されているが、25 年度の金額が 24 年度のおよそ 2 倍になっている理由は
  - ▶ 本事業については、今年度から補助金申請を行う為、平成 24 年度については 4 月～9 月の半年分となる。平成 25 年度については、24 年 10 月から 25 年 9 月の一年間に対する補助金のため、約 2 倍になっている。
- 予算資料も同じであるが、説明内容を資料に記載するべきである。
  - ▶ 補正予算（案）については、定められた様式の為、予算書に直接説明を記載することはできないが、今後は説明資料を別途作成すること等で対応したい。

### ④木津バス停のバスベイについて

#### 【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

- 歩道のマウントアップについては、歩道と車道の高さが一定であればスロープの角度が急になり、車椅子が乗降しにくいということだと思われる。事務局の説明では問題ないと思われるとのことであったが、運行事業者としても問題ないと思われる。改めて社内で検討し、協議させていただきたい。
  - ▶ 今すぐ決定するという事ではない。改めて、市も含めて協議したい。
- 駐停車の状況にも左右されると思うが、地元や運行事業者にとって一番良い方法を決めていく必要がある。
- この案件について市から提案があったのか。今回提示された資料には趣旨等が記載されていないので、内容がよくわからない。
  - ▶ 市役所の前の道路を拡幅工事に伴い、木津バス停について、建設課から相談が

あった。ガイドラインの基準に従えば、歩道をマウントアップする必要があるが、周辺住民の入出に支障がでる。そのなかで木津川市として木津バス停をどのように設置すればよいか、本日の意見を参考に市としての対応を決定していきたいという趣旨である。

- 状況判断のために、まず図面が必要。拡幅後は民家が動くのか、民家の入り口との位置関係等、状況がわからない。
  - ▶ 次回の協議会で再度、資料を整えて提案させていただき、協議をお願いしたい。
- 道路の拡幅工事はいつ行われるのか。
  - ▶ 平成25年度である。

## (2) 報告事項

### ①一日乗車券の運用について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答)

- 一日乗車券の大きさと性別の記載について決めてほしいということであるが、とにかく早く導入することが大事、事務局での検討が遅い。
  - ▶ 事務局では1,000円サイズで進めたい。分科会でいただいた意見をもとに事務局で取りまとめ、一日でも早く導入したい。
- 過去の公共交通だよりを見返していると、最初に一日乗車券の議論が挙げたのは、平成21年3月であり、事務局の取組みが遅い。サイズについては、今回の資料を見る限りではカードサイズの方がよいと思う。スクラッチ式とのことであるが、運転手が削るのか、利用者が削るのか、整理が必要。デザインについては、木津川市の観光資源をアピールするようなものにするほうが良い。男女区分については不要だと考える。大人・小児の区別を記載すべき。適用範囲は、きのつバスだけなのか、全てのバスで利用できるのか記載すべき。また、有効期限をはっきり記載すべき。
  - ▶ 事務局として、一日でも早く進めたい。サイズは財布(千円札)サイズに合わせて作りたいと考えている。運転手がカードを削るべきかという意見については、運転の安全性を重視し、運行事業者と調整していきたい。デザインについては、まずこの形で発行し、利用状況等を勘案し、観光資源のデザイン化等、今後取り入れていくことは大切だと考える。有効期限については、出来るだけ印刷費を抑える為3年間とし、使用は一回限りとしているところ。分科会の意見を踏まえ、何枚か集めれば特典がつくこと等についても検討していきたい。大人・小児の区分については、別途、小児向けの券を作成する予定。また性別の記載については、不正乗車を防ぐ為に定期券等にも記載があるためそれに合わせた。範囲については、全路線で一日乗車できることを想定している。
- 年をとってくると、一日に何回も乗りたいと思わない。どういった方が使われると想定しているのか。
  - ▶ 乗り継ぎを必要とされる方を考慮している。例えば、木津川台から高の原駅へ向かわれる方については、直通のバスでは木津市街を経由する為かなりの時間がかかる。山田川駅で乗り継ぎしていただくことにより、時間短縮が可能となる。
- カードの作成時にスポンサー料を取るべきではないか。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ まずは、一日でも早く導入し、その利用頻度を検証したうえで、ご提案いただいた内容も含めて検討していきたい。</li> <li>○ いつまでに導入するのか。</li> <li>▶ 遅くとも10月1日までには運用を開始したい。</li> <li>○ 導入に向け、広報周知も含めて早急に取り組んでいただきたい。利用状況を確認すると、運賃改定後、利用者数が年々下がっている。震災の影響もあり、一昨年に利用者数が下がっているのは理解できるが、昨年さらに下がっているのはしっかりとした政策を行っていない証拠。しっかりと取り組んでほしい。</li> </ul> <p>②大畑線ルート見直し後の利用状況について</p> <p>【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ このルートの変更とバス停の新設は、地元からの意見を反映して行ったものであり、その効果を公表するという趣旨で報告されたものと思われる。地元の方にも尽力いただき、すぐに対応した結果、利用者が増えたということは、すばらしい取り組みである。しかし、そのような状況を一刻も早く、利用者や市民に伝えないといけない。本日の資料ではそういったことが全く伝わってこない。是非、熱意をもって伝えてもらいたい。</li> </ul> <p>(3) その他</p> <p>①次回法定協議会の日程について 会議結果要旨のとおり。</p> <p>②その他</p> <p>【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今回の案内は協議会開催日の直近であった、次回からは余裕をもって案内をいただきたい。</li> </ul>
<p>その他 特記事項</p>	